



△龍▽ 大平十二社

龍のごとく飛躍の年

昭和三十九年は千支(えと)のう
えからいうと、甲(キノエ)、辰(タツ)の歳にあたる。
龍はむかしから、私たちに何か親
近感を抱かせる動物として口にされ
てきている。
龍は印度、支那およびヨーロッパ諸
国では、古代にいたとされる想像上
の動物で、きりん、ほうおう、かめ
とともに、四つの神秘な
しかもめでたい動物とさ
れていた。
その姿は、非常に大きな
は虫類(へびの類)の胴
体をしていて、蛇体に似
てそしてかたいウロコが
あり、四足を持つている
中にはコーモリに似たつ
ばさを持つているのもあ
り、深い淵や海中にひそ
み、時には自由に大空を
飛びまわって、雲や雨を
よぶとされている。
このように、龍は神秘な
めでたい動物であるので
日本などでは、古くから
神社や寺院の建築の装飾
として龍が彫刻されている。
有名な日光東照宮山内にあつた「鳴
き龍」、近くは魚津市のお寺の山門
にあつた「水をふく龍」など有名で
あつたが今は焼失してしまつた。
また龍神としてまつられ、水の神様
としてあがめられている。
あどけないものとしては、「たつの
おとしご」などがあり、想像動物龍
は私たちの生活の中に何かと関係を
もつ親しさがある。

辰歳によせて

今年(辰)は、タツの歳、そのタ
ツ歳にあやかり、今年十周年記念の
意義ある年を迎える私たさの朝日町
を、蛟龍池のものならず、十周年

大平十二社向拝の

「龍」の木彫

徳川時代から明治にかけて、旧泊
町周辺には、相当腕のすぐれた大工
がいたようである。

表紙写真大平十二社向拝の「龍」
の木彫は、現在泊高校前に文房具店
を営む元境小学校校長水島清氏の祖父
理三郎の手に成るものである。理三
郎は、彫刻の町と世に知られる井波
町の松井角平の内弟子として、宮大
工としての技をみかいたが、神社や
寺院の建築ばかりでなく、その彫刻
においても一かどの腕を持っていた
ようである。

いよいよ着手する

町の文化財保護顕彰

このたび朝日町文化財保護条例の
制定に伴って文化財調査委員会が設
置され、今までかえり見られなかつ
た町の文化財の保護顕彰に着手する
ことになりました。

朝日町は昔から文化の町として県
下に広く知られており、石器および
縄文式土器や、有形・無形文化財、
天然記念物など数多くの文化財があ
ります。しかしこれらの文化財は一
部愛好者や研究者によって、細々と
調査研究されている現状です。
ここに広く文化財を調査顕彰し、

町民の誇りある民族意識の高揚にあ
わせ、激しい時代に成長し、文化財
に親しむ機会の少なかつた青少年が
祖先の遺産に深い関心をもち、より

高い文化を築きあげる機会をつくり
たいものです。
どうか町民各位もこの事業をご理
解くださいまして、ご協力くださる
ようお願いいたします。

朝日町文化財調査委員

- 委員長 折谷 芳桓
- 委員長 柳 沢 浩
- 委員 九里 道守
- 委員 野田 親治
- 委員 森 群平
- 委員 野島 二郎
- 委員 水島 茂

(朝日町教育委員会)

朝日町が誘致する

ヤギシタ電機

朝日町が誘致するヤギシタ電機株
式会社は、神奈川県小田原市に本社
をもち、資本金二億九千万円で、現
在工員七二〇名、将来有
望な成長産業の電子工業
として目覚ましい発展を
遂げている会社である。

工員募集します

製造品目は、テレビ、ス
テレオなどの電機製品に
使われる各種の抵抗器と
充電池完全密封鉛蓄電池
の製作で特に蓄電池の声
価が高い。
誘致する会社側の要望と
して約五〇名程度の工員
を募集し、一ヶ年間本社
において技術養成の上、

朝日町工場の主任技術者として赴任
させたい主旨から極力募集に努めて
いるが、その募集要領については朝
日町産業課にお問い合わせください



昭和三十九年

を迎えて

朝日町長 本村 本松

年明けて昭和三十九年の新春を迎えおめでとうございます。

本年は朝日町にとりましては、再建団体の制約が解かれ、自主性を取り戻して再発足のスタートをきる年でありまして、一町七カ村が大同団結合併して、ここに満十年となる記念すべき年を迎えたのであります。この十年間を思いましますと、合併直後の町づくりの基礎を打ちたてたにすぎません。

新年のあいさつ

朝日町議会議長

小坂 満



都市計画の樹立、そしてその実施に水政計画の調査に、中学の統合、産業の構造改善の検討、福祉施設の整備、町政組織の改廃、役場事務の改善等数々の事業も、みな町の基礎固めのものであります。

十年を一期間とするならば、本年からの町の構想は、新川地域開発の計画も企画されている機会でもあり県とも密接な連絡の上、当町の開発も促進せねばならぬと考えます。

国においても、本年はオリンピック開催の年であり、私たちにとっては千載一遇の年であります。日本が世界にどのように評価され、私たち日本人の真価を発揮することができるとかの試練の年でもあります。当町としましては、町内の美化に諸施設の整備に力を注がねばなりません。

暦の上では辰年でありまして、飛躍の年なであります。朝日町が合併後十年、いよいよ飛躍の時期に入るといふ幸先よい年を迎えま

た。どうか町民名位の協力により、本年は当町にとって最良の年たらしめていただきたく、当町の発展を祈念いたしました。年頭のあいさつといたします。

急速にしかも大きく変ぼうしようとする内外の諸情勢に対処して、地方自治に課せられた問題は非常に多く適時適切な諸施策が必要とされてまいります。

私は、今日ほど地方自治の困難であり、また大切な時代はないように考えるのであります。

この際、町議会はあくまでも健全なる町財政の基盤のもとに、心気一転して、町民の福祉増進のためにあたかなければならないと思うのであります。

成人病

治病院長 柳沢 武秀

戦前から国民死亡率の首位を占めていた結核に代わって、今や脳出血と癌がそれぞれ一位、二位にとび出して新たに脚光をあび、いわゆる成人病として登場してきました。

脳出血は広く高血圧症の結果とみられます。高血圧症の進んだ場合、最も多い死因になるのが脳出血で、二番目が心臓病、三番目が腎臓病です。高血圧に適切な養生を怠るとこのような終局を迎える危険があるので、

国民健康保険だより

発し、特に脈、心臓、腎臓の細動脈を硬く狭く、もろくするのでますます高血圧を悪化固定させる結果となります。

もちろんこの時期には症状がいろいろあらわれますが、無症状の間に血圧測定を受けておくのが四十才以上の方には必要です。特に血族に高血圧の方がおられる場合には、定期的に検診を受けられるようすすめます。住民検診も昨今は特に成人病に重点を移しつつありますから、進んで受診なさるべきでしょう。

初期には血圧は動揺しやすく、一日中でも変動しますが、温暖のときには下り、寒冷のときには上にわかか上ります。高血圧がかなり固定している方は、夜の便所通いなどはつとめて避ける心がけが必要です。

癌も潜行的に始まり、発見が遅れがちです。胃癌が最も多く、婦人では乳癌、子宮癌も多いけれども、幸いに指に触れる乳房のしこりや子宮出血、変った帯下などで早めに発見されることが多く、従ってよく全治もします。

このように早期発見が治療のきめ手になるわけで、癌の集団検診も今いろいろ検討されています。化学療法も数年中にはあるいは完成するかも知れません。しかし一面肺癌の増加が世界的傾向という統計もあります。いわゆる都会のスモッグや巻煙草が肺の発癌を促すとも言われますが、いずれにしても何らかの症状があれば、早めに一応診察を受けることです。同時に万事節制が基本かと存じます。

五箇庄小学校講堂 大家庄小学校便所 改築工事完成

数年来腐朽はなはだしく改築を要望されていた五箇庄小学校講堂および大家庄小学校便所は、地元関係者の熱意と当局の理解により本年度より着工、五箇庄小学校講堂は石井清

司氏の設計で稲村建設の手により、大家庄小学校便所は同じく石井氏の設計で小川建設によって請負われ、工事が急がれていたが、このほど両方とも竣工をみ、両方とも簡素にして近代的な感覚を生かした設備その他に、校下父兄および関係者は喜んで、(写真は五箇庄小学校講堂の外観の一部)



町民の声 募集

▼応募規定 (イ)内容 町政に対するご意見でも質問でも結構です。質問に対しては担当者の答えを記載します (ロ)原稿は三〇〇字以内とする。 (ハ)応募者は住所、氏名、年令、職業をはっきり記入してください (ニ)あて先 朝日町教育委員会事務局内 あさひ編集委員会 ▼原稿の取捨選択は編集委員会に任じていただきます。 ▼採用した原稿はとく名で記載します。

朝 監 第 3 0 号

監査結果の公表について

昭和38年9月2日

朝日町監査委員 坂口良造 松原三郎

朝日町総務課

1. 監査月日

昭和38年8月17日

2. 事務の分掌

当課における事務分掌は次のとおりで、課長外14名の事務職員、連絡所勤務職員2名、雇1名、消防署員7名、助手5名重なる事務は次のとおりである。

(1) 公印の管守

(2) 庁内及び他行政機関並びに公共的諸団体等との連絡調整及び町内会に関する事。

(3) 人事、給与、職員共済、職員研修及び厚生関係

(4) 選挙事務

(5) 戸籍 (住民登録、人口動態、外国人登録、印鑑登録等を含む)

(6) 条例、規則、規程及び公告式に関する事。

(7) 事務及び行政機構の改善

(8) 町政運営の総合企画及び総合開発関係

(9) 重要文書の保管

(10) 庁内の取締及び当直関係

(11) 自衛官の募集

(12) 消防関係

(13) 公平委員会及び人権よう護委員に関する事。

(14) 財政関係

ア 町予算の編成

イ 収入、支出命令

ウ 地方交付税、補助金、負担金及び交付金関係

エ 町債及び借入金関係

オ 財政再建計画に関する事及び新町建設計画の調整

カ 基本財産、積立金及び繰入関係

キ 町有財産並びに营造物の取得管理及び処分

(15) 食糧配給事務

(16) その他、他の課の主宰に属しない事項

3. 事務処理に関する意見

当課の事務処理については良好と認める。

4. 予算の執行状況

当課における執行予算は主として経常経費であり、特記すべき事項なし。

予算の執行状況は次のとおりである。

予算の執行状況

歳入 総務課 (昭和38年7月31日現在)

款	予算現額	収入済額	予算残額
1. 町 税	109,807,000	38,053,609	71,753,391
2. 地方交付税	35,000,000	19,294,000	15,706,000
3. 公営企業及財産収入	1,647,700	0	1,647,700
4. 分担金及負担金	11,268,200	1,242,392	10,025,808
5. 使用料金手数料	6,541,300	2,565,635	3,975,665
6. 国庫支出金	37,139,800	435,442	36,704,358
7. 県 支 出 金	10,756,500	502,320	10,254,180
8. 寄 附 金	9,077,100	1,536,000	7,541,100
9. 繰 越 金	1,000	0	1,000
10. 雑 収 入	483,400	202,987	280,413
11. 町 債	21,400,000	0	21,400,000
歳入合計	243,122,000	63,832,385	179,289,615
一時借入金		15,000,000	
総 計		78,832,385	

歳出

款 項	予算現額	執行額	未執行額
② 役 場 費	34,497,500	13,411,086	21,086,414
1. 役場職員費	31,685,300	12,497,383	19,187,917
2. 監査諸費	68,000	8,830	59,170
3. 諸 費	2,744,200	904,873	1,839,327
③ 消 防 費	6,697,900	1,783,645	4,914,255
1. 消防署費	3,641,200	1,118,818	2,522,382
2. 消防団費	3,056,700	664,827	2,391,873
⑨ 財 産 費	879,443	443,933	435,510
1. 財産管理費	769,443	443,933	325,510
2. 積立金	110,000	0	110,000
⑪ 選 挙 費	763,800	233,489	530,302
1. 選挙管理会費	90,600	6,700	83,900
2. 公啓 発 選 費	50,000	3,420	46,580
3. 県議 会 議 費	340,400	199,528	140,872
4. 農 業 委 員 会 費	282,800	23,850	258,950
⑫ 公 債 費	20,079,736	4,717,189	15,362,547
1. 元利償還金	19,569,600	4,207,053	15,362,547
2. 利 子	510,136	510,136	0
⑬ 諸 支 出 金			
3. 地方振興費	1,626,000	658,237	967,763
4. 繰 出 金	500,000	0	500,000
5. 賠償及償還金	1,823,200	77,397	1,745,803
6. 諸 費	2,505,000	899,664	1,605,336
⑭ 予 備 費			
1. 予 備 費	401,081	0	401,081
1. 予 備 費	401,081	0	401,081

新しい村づくり

新しい時代は祖先伝来のアゼをとつてしまふことからはじめると誰かが言った。祖先伝来のアゼがあるかぎり農民の思想も考え方もなかなか変えることができない。

このアゼをなくする農業構造改善が桜町にも始まった。地元の熱意と総意によって一枚二、三畝歩の田を一枚三反歩にかえていく。農道も市五米という立派な農道が造られていく。これから三年間に七〇町歩余の桜町全部の田が生まれかわるのである。「新しい酒は新しい皮袋に」といわれるように、この基盤整備により、新しい米作り、桜町地区にあった新しい農業経営形が当然生まれてくるであらうしまた生まれさせねばならない。

農事教室

これらが混然と共存しているのが現在の農業の現実である。農家の方々の頭の中にも考え方にもこの現実が葛藤しているのはなからうか。

昨年当町の八割の水田面積一、五〇〇ヘクタールに早生の穂くびいもち病を対象にヘリコプターによる農薬空中撒布を行った。その防除効果が期待されておりほ予期した効果が上げ得られ、今年もヘリコプター防除をやろうという事になったが、このようにやろうという気持と総意によってはどうなこともなしとげられるのではなからうか。またこれからの農業経営は一人ひとりの考え方、実行力だけでは大きな事業ができるものでなく、少なくとも部落農協単位で事業を進めねばなりません。畜産にしても、蔬菜、園芸にし

ても生産団地を形成しなければ有利な取引もできないのが現状です。協同化こそ自由な発展へてき得る唯一の基盤であり、方法であります。また農業構造の改善を進める方策として、自立経営農家の育成が強く打ち出されております。朝日町には経営面積からみて少なくとも、一五〇二〇の安定した専業農家として他産業従事者以上の所得をあげ得る農家があり、現に米作を主体として酪農に養豚に、養鶏、蔬菜栽培、球根栽培等によって希望に満ちた経営をしておられる現状です。ある部門においては日本一と折紙をつけられる農家もあります。これらの農家はあつた若し人が本当に必要です。両親はじめまわりのものはいうまでもなく、関係者は一致して優秀な若い方々を見守り農家の後継者として育てていかなければならない。4Hクラブ農協青年部、最近結成された酪農青年部等若い力を結集したグループがいづくもあり、明日の農村はこの若い力に頼ることが大きい。このように考え、みてくると、現在の農村は革命期にあり、建設の雄音高い農村であり、夢の多い農業であります。家のみならず村のみならず話し合つてみんな夢をもって昭和三十九年こそ朝日町農業の躍進の年としようではありませんか。

(朝日農業改良普及所)

除雪に万全を期す

町でブルトーザ購入

朝日町ではこのほど積雪期の道路輸送の確保のため、小松D50SD1ザレベルを購入いたし、県の県道除雪計画とあいまって、町道の除雪に万全を期すことになりました。

なお積雪期以外は土地改良その他に使用する計画になっていきます。

町を美しくしましよう

去る十一月二十四日に開かれた第四回朝日町青年会議会で、東京オリンピックを来年に控え、オリンピックを契機に町を美しくする運動を展開することを満場一致で決議しました。

連青だより

私たちの周囲を見まわしても、公園へ行っても山へ登っても紙くず、あきカンの山。

先日畠山みどりが来演したときの会場のあとを見られましたか。ここも紙くずの山。日本人は奥ゆかしくて道徳的だなんて、どこから出たことばかと疑いたくなります。

何もオリンピックがあるから町をきれいにしなければならぬというのではありません。美しい、ゴミのない町こそ明るい、住みよい町づくりにつながるのです。青年団では、

昭和三十八年度 結核住民検診の結果

このほど全町終了いたし、対象者八六四名中受診者八、四三八名で、受診率は昨年の九六、九%を上まわる九七、四%で、県下でも最も高い受診率をあげております。

そのうち、本人あてにはすでに連絡してありますが、精密検査を要する方は一五七名おられました。通知状を受けられなかった方には異常のなかったことをお知らせします。

各地区の受診結果は下表のとおりです。

地区別成績表

順位	地区別	該当数	受診数	受診率(%)	要精密検査
1	川区	429	423	98.60	7
2	笹泊山	941	926	98.41	19
3	泊宮南	1,064	1,045	98.21	23
4	泊宮南	977	959	98.16	26
5	宮南	969	951	98.14	24
6	宮南	408	396	97.05	8
7	宮南	990	960	96.97	17
8	野大	876	849	96.92	11
9	野大	195	188	96.41	4
10	野大	1,250	1,205	96.40	12
11	野大	565	536	94.87	6
	全町	8,664	8,438	97.39	157

訂正・追加

十二月号「あさひ」の成人者名簿に次の方々を本誌に追加、訂正いたします。

- ◆ 追加
 - 大家庄地区 加納正夫 小川信孝
 - 川瀬英也
 - 石橋玲子
 - 南保地区 南保玲子
 - 岩井政之
 - 宮崎地区 九里福久代
 - 大平正通
 - 笹川地区 長井和子
 - 五箇庄地区 清水鈴子
 - 山崎地区 岡島富子 佐渡百合子
- ◆ 訂正
 - 蓬沢正二
 - 泊地区 若林英雄 中島 満 吉田 威
 - 田畑章二 坂東万里子 大和靖子
 - 工藤博美 久野木芳子 寺崎百合子
 - ◆ 訂正
 - 谷口伊太郎→伊左子、谷口昌目→昌且(南保) 岡島茂松→義治、浜法司→浩司(五箇庄) 脇山嶽→巖
 - ◆ 抹消
 - 折谷久仁子(笹川)

写真入魂式



編集兼発行 朝日町役場
印刷所 両越印刷
送料 六円
定価 六円